

第 4 章

計画全体を支える仕組み

- 1 事業の評価検証
- 2 将来の文化芸術活動を活性化させるための調査研究

1

第4章 計画全体を支える仕組み

事業の 評価検証

文化芸術の本質的価値（創造性と感性を涵養等）などといった文化芸術分野の特性を踏まえ、定量的なもの以外も含む適切な指標の検討を行うなど、定性的側面も捉えながら、施策の改善に資する評価の在り方の検討などを行います。

また、時代に即した事業構成とするために、札幌市文化芸術基本条例第10条に規定する意見交換の仕組みを活用し、外部有識者による検証を適宜行い、計画期間中においても必要な見直しを進めます。

計画推進に当たっての指標

指標	現状値	目標値
	令和4年度 2022	令和10年度 2028
文化芸術環境に対する満足度	32.1%	40%
ステージ 1		
文化芸術活動への参加割合	81.8%	85%
障がいのある方の文化芸術の鑑賞割合（※1）	58.6%	65%
市内主要イベントの観客者数（※2）	654,458人	854,000人
主要文化芸術施設の利用者数（※3）	1,497,678人	2,143,000人
ステージ 2		
子どもが自然、社会、文化などの体験を しやすい環境だと思う人の割合	48.9%	50%
文化芸術活動をしている人の 文化芸術環境に対する満足度	35.8%	45%
ステージ 3		
文化財関連施設利用者数（※4）	486,850人	575,000人
来札観光客数	13,108千人	16,900千人
ステージ 4		
他の文化芸術分野や社会分野と 連携をしたいアーティストの割合	76.6%	80%

※1：当該数値は3年に1回実施する「障がい福祉施策に係る障がい児者実態調査」の数値

※2：対象イベントは、PMF、サッポロ・シティ・ジャズ、さっぽろアートステージ、演劇シーズン

※3：対象施設は、札幌市民交流プラザ（hitaru及びSCARTS）、札幌芸術の森、札幌コンサートホール（Kitara）、
札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、本郷新記念札幌彫刻美術館

※4：対象施設は、時計台、豊平館、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮、八窓庵、琴似屯田兵村兵屋跡、清華亭、
旧黒岩家住宅、新琴似屯田兵中隊本部、札幌村郷土記念館、丘珠縄文遺跡、旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）

2

第4章 計画全体を支える仕組み

将来の文化芸術活動を 活性化させるための調査研究

札幌における将来の文化芸術活動の活性化につながるように、文化芸術活動に関するデータの収集や国や道内、道外他都市との情報交換、市民ニーズの分析を行います。また、文化芸術資産のデジタルアーカイブ化などについても継続して取組を進めます。